

懐かしの黒石団地写真展 昭和51年の写真が最も古い写真でした

|さしこわばそ展 をんてのれれので子

描、いポま、中はど

き頑まスし文か、も

ま張す夕た化ら優会 つ。)。祭最秀の

よて子コ来会優作夏

う夏どン年場秀品ま ! まもクので作各つ つ会 | 文表品学り

り々ル化彰一年ポ

スの企もがが点夕

ポ員を祭式点ー

夕皆画、行選

★★のに黒 \star 展敬夏子 **上懐**作企石番今 野か品画団文年 及老まど **び会つも夏勝し**展が地化の **無・り会ま昭の**示進をの文 料夏ポのつ氏黒のめ目薫化 外ら指り祭 配まス りの石 にれそのは 布つタ イ 寸 新まうすった IJÌ ラ 地 写画たを自志 ス の表 写彰 1 と。合治市 展 真式 展し通言会内 て常葉

黑化 石の 团焦 地り を高 目き 뒴

まなしど た様 。々 な 企 曲 で会場 が彩ら





発行責任者 黒石団地区自治会 区長 前川一男

編集者 林田豊司(北1組6班)

ポスター展で最優秀賞を授与される 2年生 木場 歩生さん(北2)

予まる た赤バたの 定すイ黒。いザ。ご今 羽上作協年 でパベ石 すワン団 根へ品力も 。「卜地 募売展有た 金上示りく アで区 ッすの に8、難さ 全,生うん額9演ごの プが地 し、域 寄5奏ざ区 て来力 開年が 付り、い民 催も問 し円そまの すまわ ま〜しし皆 るすれ しはて 様

りのご かどうございました

スーみせの老様 ト黒まん、会々来 **一石せかス・な年** へ団ん!ナ文イの 仮地かまッ化べ話 称の!たプ祭ンで 〜写来カ写・トす を真年ン真年へが 行・のバを末夏 い絵文ス撮夜ま黒 ま画化につ警つ石 すコ祭描てなり団 ・ンでいみど・地 テ、てま一敬の

年 文化 向祭 けに



夏まつり・敬老会写真展 希望者に無料配布されました

黒石団地子ども

AN ANTON ANTON

来年小学1年になるお友達も参加できるよ

黒石団地子ども会では今年 もクリスマス会を開催します。 会員のお友達はもちろんです が、来年小学1年になるお友達 も参加できます。 詳しくは西村まで





…12月20日(日) 12時から2時まで

所……黑石団地区 公民館

※お楽しみ昼食会 ※ビンゴケ

などなど

て拍どい意い 者へな。末で 、子もま識ま年同但た黒夜は黒 で沢木達すのす末伴しで石警 し山をは。向がの〜小も団を毎団 よの打、ま上、風 学参地実年地 う思つ仲たに団物 生加区施1区 いこ間参一地詩 以で区し2自 出とと加役内に 下き民て月衛 をに一す買のな はまない末消 作よ緒るつ防つるつに子て火て 保すらまに防 護。どす年団

は

詳い公ん 1日 2程 。民。1 館参日 月 ま加だ322 でさけ098 おれで日日日 いるも~ で方構**水火月** くはい ∑ ₹ PM8:00~ さ当せ PM10:00



ᇗ



公民館前を出発する防犯パトロール隊

て口りで盗自黒らし声も │─すや転石れたか達発 のれまルま。空車団ながけに足 見かす隊すへき・地く 。 のま須巣オ周な最案す初 役す屋が「辺り近なる団 守ら りも 割私交増トでまでど様地 黒子 日付 団 は達番えバはしは頻々内

重節だてイ、たほ発なで 要犯よいのこ。として審 にパりる二こしんて審、 なトよそ輪数かどい者子 つ う車年し見ま・

30

厚

レル

す名すも黒 。計 。 、石 。、石平 2 現今団成 在年地 1 3 名男で防7 で性5犯年 1年パ6 活 動9目1月 し名を口に て・迎│発 い女えル足 ま性ま隊し

4

動にな

い隊毎

ま員週

すが2

。月回

に火

2 •

回金

程曜

度日

ル

て各

隧 た

い安 います。 -校 ために頑張っ Pで交通整型地の子ど

★★ ★ ★ ★ て内 放黒整黒理東も東まの 置石理石 小達小 学と学 自団 駅 転地 駐 校 輪場 正緒か門にら 車内 のの 通パ Õ 前下団 報ト 自 転 \Box 車 0)

防犯パトロール隊のこれまでの活動に対して、大津警察署・大津地区防犯 協会より感謝状が授与されました。

防犯バトロール隊に感謝状



感謝状を授与される奥原隊長

し流達記皆慰パど黒 くしと念勤労トな石 はて一品者会口た団 奥み緒をやを│で地 原まに贈精開ルもに ませ地呈勤催隊入お でん域し者しで隊住 かのてに、はでま 。たい心パ、きい めまばト年まの にすか口にす方 · り l 。な

地達

0

詳を私のル度当ら

出 <u>a</u>

11月25日に配達されたお弁当 1食450円です

を食思し 7 受をいま5対 け希まで歳象れ 酒 付望す 、以でま 食 。対上しで けさ てれ該象のた いる当幅高が人ま方さを齢い暮 た 丶暮 すのれ広者こら。申るげこれし *申るげ二れし し方た人かの 込でい暮ら高 ま み配とらは齢

趣者かず 変が暮 ヽが 、ら黒始平 旨をけ 、単喜 も見な配にばサレ石ま成 あ守ど達弁れ」の団つ1 りり、の当てビ高地た7 まま一際のいス齢内ひ年 すし地に配まを者のま1 りり 。よ域高食す提に 3わ 1 ・供月6り月 し2名ラよ て回のンり う全齢に ー体者と とでへど 言高のま 、でーチ配 う齢声ら 大す人は食

在 四

スをは で対黒 す。象石ひ と団ま し地わ た内り ラ 配で、 食 サ高チ 齢 ビ者と



お弁当が温かいうちに配達します 配達スタッフ

詳公。てれサと し民毎スかー8現 く館月夕らビ名在 はで2つのスク ラ はでくっい人い E 奥活回フサを配 O 原動第を 1 行達名 まし 2 募ビつスの シテ まし2募ビつスのでて、集スて夕調い4し拡いッ理 1 7 ま水て充まフ す曜いにがでタ ・日ま向、配り にすけこ食フ





調理スタッフ 和気あいあいと楽しい一時です